

新発田青少年健全育成市民会議だより

は ば た き

21世紀も市民みんなで手をたずさえて

青少年健全育成「市民一斉パトロール」

平成17年11月3日(祝日)

出発式



カルチャー会場



コモプラザ会場

大人が変われば子どもも変わる

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号
電話 (〇二五四) 二六〇八九七

子どもたちの安心と安全のために

＝ 地域の協力、手を組んで ＝

登下校時の 危害防止活動の取り組み



子どもたちの通学や生活をめぐって、痛ましい危害事故が続発しています。

このような状況の中で、各地区育成協でもさまざまな活動をすすめています。

地区育成協の活動は

地区での活動は、それぞれの地域の事情や特色に沿って、次のような内容で進められています。

○地区内の関係機関や団体との連携（活動企画と情報連絡の会議など）

・学校 ・町内会（自治会）
・事業所 ・児童委員
・交通安全協会 ・消防団

○パトロールの実施

・子ども達の登下校時に実施（組織的な活動とボランティア協力者による※「ながらパトロール」など）

・子どもたちに安心と、地域内の啓発のために、服装やステッカー車で立場を明示して。

・通学路のほか、地域内の危険箇所の点検を含めて（学校等で作成した「安全

マップ」による確認など）

※「ながらパトロール」……

買物や用事の往復のときにあわせて、安全パトロールをする。

活動をめぐる課題（問題点）

今後にむけての課題（問題点）として、地区により次のような状況があげられます。

○地区内の協力体制を組むに当たって、危害意識にズレがある。

○「子ども一〇番の家」の標示が明確でなく、工夫が必要。
○学区が広く、児童数も少なく、一人で帰る区間の安全確保をどうするか。

○登下校の時間帯が有職者の勤務時間と重なり、在家の高齢者に頼ることとなる。

○パトロールを示す服装、用品（用具）の整備のための経費確保に困難。

○集団下校で、学年による放課時間の差があり、体制を組むのがむずかしい

* * *

また、「育成協」としての活動のほか、地域によつては、学校側からの協力要請で、ボランティアとしてパトロール組織に参加し、活動を展開している地域もあります。

また、子どもたちの学校生活時間帯に、学校の職員・児童玄関等の施錠管理、来校者の対応や校舎内の見まわり等をおし、安全活動をしている皆さんもいます。

休み時間には、子どもたちと

子どもの安全に、

新しい活動①

川東宮古木地区

川東宮古木地区で、子どもたちの生活安全を守るための、新しい活動がスタートしました。

「ステッカー」をはり、会員の皆さんは、子どもたちにも目立つように「ジャンパー」「帽子」を着用して、川東中学校区内を巡回するものであります。

星野会長さんは、「地域の方で子どもたちの安全を守ろうと計画したもので、子どもたちの安心安全のほか、地域内の防犯意識の高まりを期待し、活動を充実させたい。」と語っておられました。

この活動は、法制上の認可を得た三台を含む一〇台の車に、



宮古木会活動出発式

の触れあいを楽しみながら過ごしておられるそうです。



校長先生との朝のふれあい (住吉小学校)

地域の協力のもとで

佐々木中学校長 嶋貫研一

十一月三日に「市民一斉パトロール」が実施されました。不審者から子どもを守るための一つの取組でした。

学校では、下校時に複数で帰ることや、防犯ブザーを身に付けること、いざというときは子どもも百十番の家に助けを求めることを指導しております。さらには不審者対策のための訓練とそれにあわせて警察の方からと

つさのときの自己防衛方法の講習会を実施しております。それでも、不審者出没の情報は市のHPに掲載されているように後

子どもを守る

御免町小学校長 伊藤順治

子どもを守る取組と市民のみなさまへのお願いです。

一 通学路の安全点検

人通りの少ない通学路を一人で歩くなど危険がないか家の人と一緒に歩いて確かめ、安全に登下校できるようお願いしています。学校では、それを基に通学路安全マップを作ります。

二 通学路安全マップ情報

通学路安全マップ情報を保護者、町内会、老人クラブ、教育委員会、協力団体、警察にも提供し、防犯パトロールやながらパトロールなどに活かしていた

だきます。

三 守る工夫と防犯指導

「イカのおすし」と教えます。不審者に出会ったら、「ついていかない」、「車にのらない」、「おっこえでさげぶ」、「すぐに」、「しらせる」です。子どもも一〇番の家や店への駆け込み、防犯ブザーの携行も効果的であることを教えました。

四 見送り・出迎え、あいさつ

朝、家の前で送り出し、帰る頃を見計らって迎え出ることを薦めています。地域でのあいさつや声かけが子どもを守ります。一声かけてください。

(市民会議理事)

子どもたちの安全を守るために

紫雲寺地区育成協会 比企広正

紫雲寺地区では、下校途中に発生した不審者の情報は過去に数件ありましたが、幸い被害にあつた例は無く、比較的 안전한地域を形成していると思います。

なぜ安全な地域が形成されたのか、いくつかの理由があると思います。その一つには代々受け継がれてきた伝統文化の継承にあると確信いたします。

人口約八千人の紫雲寺地区はほとんどの行政区で鎮守様をお祀りし、四月から九月までの半年間で十五回のお祭りが執り行われます。中でも五ヶ字と稲荷岡では代々に渡り子ども神楽を

子どもの安全に、新しい活動②

〓 猿橋小学校区 〓

猿橋小学校区の方々のグループ「セイフティスタッフ」が、新しい活動をはじめました。グループの福田松吉さんから、活動内容を紹介いただきました。

* * *

猿橋小学校は新興住宅地に立地し、近くには大型ショッピングセンターもあり、不特定多数の人が集まり易いという現況にあります。

そのようなことを背景として同校PTA、地域住民が「子どもたちが安心して学校生活を送れるよう」「子どもたちを地域

の手で守り育てよう」との趣旨のもと、子どもたちの学校生活時間帯に学校の職員・児童玄関等の施錠管理を行うため「セイフティスタッフ」を組織し、九月一日からボランティア活動をはじめました。

スタッフは現在十四名で、お客様来校時の開錠、来校者名簿への記入、下校時の施錠確認、校舎内の見回り等が主な業務ですが、来校客を迎えながら、休み時間には子どもたちとの触れあいを楽しみながら過ごしております。



セイフティスタッフのミーティング

地域のまとまり、みんなの願いで育つ子どもたち

市内各地域では…子どもたちの日々の健康と心の充実、コミュニティの一員としての心の育成を「願い」として、さまざまな活動をすすめています。

フラワーロード

五十公野地区育成協

五十公野小学校・北校舎沿いに花壇がある。この花壇には「フラワーロード」と愛称を付けている。子どもたちに潤いのある学校生活を送ってほしいという保護者・地域の願いを込めて、PTAの方々が、この花壇をつくつたと聞いている。

昨年五年生が十一月にチューリップの球根を植える。四月になると一斉に花が咲き、一面が絨毯のようになる。

六月になると、地域の方から専門的知識を生かして、彩りのよい花壇計画を立てていただい

米倉太鼓の役割

昭和五十八年、地域の子供達の健全育成を目的に、米倉小学校、PTA、地域が一体となつてつくつたのが「米倉太鼓保存会」です。

創設当初は、諸問題が山積みだったようですが、地域の人々の理解と協力を得て現在に至っております。

子供達に太鼓の叩き方を教える事は、そう難しい問題ではありません。しかし、太鼓の目的や習う事の大切さ、協調性を解つて貰うのには苦労をします。

米倉太鼓保存会

練習中には大声を上げることもしばしばですが、幸いなことに保存会のメンバーには、小学生の他に中・高・大学生、社会人と幅広い年代が揃っており、細かい指導をして頂いております。

子供達の最終目標は、お祭りに参加することですが、太鼓を楽しく叩くには、太鼓を好きになる事、好きな太鼓を叩くには練習が必要、練習をするには協調性が要求される、ということをお子供達に理解させながら、こ

分校）へ届けている。花期が終わった頃に回収の予定でいる。

フラワーロードに

花を植えてみて

六年 嶋津ちひろ

私は、学校の横にあるフラワーロードの花を植えるのは初めてでした。サルビアは赤く、マリーゴールドはオレンジのきれいな色の花が学校を明るくしてくれていました。花を植えるときは、花をきずつけないようににいていねいに植えました。

れからも子供に対しての米倉太鼓の役割を果たしていきたいと考えております。（遠藤 登）

六年 榎本 和平

僕が米倉太鼓を始めたきっかけは、これをやり通せたら、どんなにうれしいかと思つたからだ。これまで、米倉祭りや新発田祭り、太鼓フェスティバルなどで数多く演奏してきた。

リズムが合つまでやつた練習。好きな曲は、「乱れ打ち」という曲で、本番ではお客さんが喜んでくれ、拍手も大きかった。



練習のひとつ



▲花のプレゼントセレモニー（東デイサービスセンターにて）



▲五年生のチューリップ球根植え

きれいになった

フラワーロード

五年 星 沙英莉

私は、フラワーロードにチューリップの球根を植えたとき、どんな花がさくのか楽しみでした。植える方は、球根が二・三個入るような穴をほって植えます。けっこう大変でした。まだ球根を植えたかたけど、五年生全員でやつたので、はやくおわりました。春になったら、どんなきれいな花がさくのか楽しみです。

三年生から初めて四年間、やり通すことができてよかった。

五年 下妻 美樹

私は、米倉太鼓を三年からやっています。お父さんとお母さんがやっていたので、小さい頃から聴いていました。やってみると、けっこうおどろくほど覚えるのが大変だったけど大人のから教えてもらい、今では四曲ぐらいたけるようになりました。友達みんなとたけて楽しいです。

青少年健全育成「市民一斉パトロール」を行いました。

11月の全国青少年健全育成強調月間に併せ、市や警察、自治会連合会から後援をいただき、関係団体による実行委員会を組織し実施いたしました。

市民の皆様から理解を深めていただくとともに、各種活動への参加をいただく契機とするものです。

青少年健全育成の地域活動の充実や定着に向けご協力等をお願いします。

★概要 主催 市民会議（主管 青少年健全育成「市民一斉パトロール」実行委員会）

①出発式

- ・日 時 平成17年11月3日（祝日）午前9時30分～午前10時
- ・会 場 地域交流センター 駐車場前広場
- ・内 容 ◇主催者あいさつ ◇来賓激励 ◇校区代表の決意表明
- ・参加者 153名

②10中学校区による啓発活動

- ・日 時 出発式終了後、10時30分～正午（別の日の校区あり）
- ・内 容 幟を掲示し、啓発用のチラシ、ティッシュを配布
- ・会 場 ◇カルチャーセンター、◇ジャスコ、◇コモプラザ
- ・参加者 84名



校区代表による決意表明

川東、佐々木、豊浦、紫雲寺、加治川中学校区では地区活動を行いました。（参加者77名）

決 意 表 明

明日の新発田市を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな心を培い、非行におちいることなく、心身ともに健やかに成長することは、私たちすべての市民の願いであります。

少年の非行件数は減少傾向にあるものの、依然として子どもを対象とした不審者の出没は後をたたず、青少年にとって好ましい環境とはいわれません。

この厳しい現状を認識し、私たち青少年健全育成に携わる団体は、11月の全国青少年健全育成強調月間に併せ、啓発活動を強化し、「安全」、「安心」のまちづくりに尽力し、青少年健全育成を更に推進することをここに誓います。

1つ 市内17地区育成協議会をはじめとする、青少年健全育成団体による「愛のパトロール」などの地域活動を強化し、子どもたちが健やかに育つ地域づくりに貢献します。

1つ 青少年問題の広域化を見据え、それぞれの団体が連携と情報交換を密にして、ネットワークとフットワークの効いた活動ができる体制と環境を整備し、青少年健全育成活動を展開します。

1つ 「市民一斉パトロール」を通じ、青少年健全育成に対する市民啓発を図り、「市民一斉パトロール」の定着を目指します。

以上、青少年健全育成「市民一斉パトロール」出発式において、決意表明します。

平成17年11月3日
青少年健全育成
「市民一斉パトロール」実行委員会
本丸中学校区 代表 鈴木 広宣

青少年が置かれている状況は非行問題のほかにも、幼い子ども連れ去り事件など、従来にも増して複雑化しております。これらへの対応には、地域における青少年育成活動が重要であり、とりわけ市町村民会議の役割は大きくなってまいります。

しかし、市町村合併による市町村民会議の新体制確立の遅れ、関係青少年団体との協力・連携不足、活動のマンネリ化など、必ずしもその役割を十分に果たせずにいる市町村民会議も

あるようです。このような中で、新発田市は、いち早く市内の青少年団体の一元化を進め、昨年は関係機関との連携・協力のもと青少年育成活動を市民に見える形で行われた「市民一斉パトロール」など、県内でも先進的な取り組みがなされております。

県民会議といたしましても、

地域における健全育成活動が円滑・効果的に行われるよう、体制・事業の見直しを図りながら、各種事業を展開してまいり



健全育成指導車も参加

先進的な取り組みに期待して!!

新潟県青少年健全育成県民会議 会長 高野 桂子

ます。今後とも、青少年健全育成活動が県民運動として、より一層促進されますよう皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

“市民一斉パトロール”に寄せて

最近、気になること

新発田市少年補導委員 諏方 美智

先日開催された補導委員研修会は、夜回り先生・水谷修氏の『生きてくれてありがとう』のビデオ上映によるものでした。「今、多くの中高生がリストカットすることで、自分の苦しい気持のガス抜きをしている」という衝撃的なものでした。上映終了後、新発田市の中高生の中でも、リストカットをしている子がいることを、E先生からお聞きし、信じがたい、暗い気持ちになりました。一人部屋に閉じこもり、カミソリで手首に傷をつけるなんて・・・。

私達の普段のパトロールの時に会っている子供達の中に、そんな子がいたとしたら、と思うと、とても心が痛みます。私達補導委員の“愛の一声パトロール”活動が、その子達のせつない心を救える一助、になれたらどんなに嬉しいことでしょう。

日々気になっていることです。

安全確保は最優先課題

豊浦地区子供会連絡協議会 会長 田村 光雄

「きょう、学校でこれをわたされたんよ」

先日、小学校二年生の孫娘がランドセルの中から取り出したのは防犯ベルだった。

どんな音が聞いてみると、かなり大きな音がする。いざというときの使用方法も指導されたようだが、こういう物品を学校で渡さねばならない世相に暗然とし、複雑な思いがある。

豊浦地区の居住地域は殆どが平坦地であるが小、中学校の通学環境となると、安全の見地から問題点もある。遠距離、人家のない区間の長さ、交通量の多少等安全に関わる要素が多い。

現に最近も地区内や隣接の阿賀野市笹神地内での不審者出没情報がある。

地区内の各学校でも下校時の安全確保を中心にした対応策を検討あるいは策定し、地域ぐるみで実施に入っている。

子供達の安全確保は全てに最優先する地域の課題である。学校、PTA、地区青少年健全育成協議会ほか、地区のすべての組織を生かした実践活動が必要な段階だと考えている。

めあてをもって、輝く子どもたち

子どもたちは、とりまく社会からの多様な刺激を受けて、夢を描き、めあてをもって、自らを磨き励んでいます。

全国商業高等学校協会検定合格!! 難波弘行君(三年)

新潟県立新発田商業高校

全商検定一級七種目の取得は、本人の努力の成果であるとともに、担当教員の努力の成果でもあります。新発田商業高校情報処理科では、一人一人の生徒のニーズに応え、親身になって授業を展開しています。資格はあくまでもビジネスの道具でしかありません。情報処理科では、社会情勢がいかように変化しようとも、生徒が「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路を選択できるよう支援しております。



七冠になるまでの道のりはとても長いものでした。テストと検定が重なったり、三週連続で検定があったりしました。でも、大変な思いをしたからこそ、こういう結果にたどり着いたのだと思います。そして、七冠取得に欠かせない情報処理や簿記が、しっかりと勉強できる情報処理科に入ってよかったです。

全国高校バレーボール選抜大会に 駒を進める新発田中央高等学校

新発田中央高等学校バレーボール男子部は、三月二十日(土)から、代々木体育館(東京)で開催される「全国高等学校バレーボール選抜大会」に、新潟地区代表として出場いたします。

斎藤監督さんのお話では、「男子バレーにとっては基盤に恵まれないうこの地方にあつて、生徒達はさまざまなハンディを気概でのりこえ頑張ってきた」とあり、練習の合間、キャプテン内山亮君は「努力がかなってうれし。人生にとても貴重な機会として、精一杯の力を発揮したい。」と力強く語っていました。



喜びを語る選手達

おわりに

子ども達にとっては「卒業・入学」と、新しい希望で迎えるこの春、新発田市内の高等学校を卒業する生徒が一、七六九名、中学校卒業生が約一、一〇〇名、そして小学校への新入生は約九〇〇名であります。

それぞれ、新しい段階での生活にむけて思いを新たにしていることでしょう。市民皆で励まし、応援したいものであります。

* * *

一方、残念ながら子どもたちの生活には、危害から身を守らねばならない状況があります。

今号では、地域の方々の状況に備える“活動をお知らせしました。

明るい社会の姿が、一刻も早く回復することを祈ります。

(槇坂 記)

編集部

模 坂 宣 弘
吉 田 奈 津 子
伊 保 橋 清 子
遠 藤 幸 夫

